

令和3年度 厚生労働省 老人保健健康増進等事業
介護事業者（介護職）の現場での課題対応力強化に向けた調査研究事業

「介護現場での課題対応力強化に向けた取り組みに関する調査」

平素より当会事業の推進につきましては、格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、この度、当会では令和3年度厚生労働省老人保健健康増進等事業といたしまして、「介護事業者（介護職）の現場での課題対応力強化に向けた調査研究事業」を実施することとなりました。

令和3年度介護報酬改定に関する審議報告において、次期介護報酬改定までに特に検討を進めるべき事項が今後の課題として示されており、とりわけ、各介護サービス共通の重点課題として、感染症や災害への対応力強化、認知症への対応力向上に向けた取組の推進、看取りへの対応の充実、中重度者・看取りへの対応や自立支援・重度化防止の取組の充実、といった項目が掲げられており、これらについては介護事業者（介護職）の現場での対応力強化が重要であるとされています。

そこで、こうした重点課題に対する介護事業者（介護職）での対応力強化に向けた取り組みの実態や課題を把握させていただきたく、本調査を実施させていただくこととしました。

大変ご多用の中と存じますが、何卒本事業の趣旨をご高察賜り、令和4年2月14日（月）までに、本調査票にご回答賜りますようお願い申し上げます。

◆最初に貴事業所の介護サービス種別をお答えください。

1. 介護老人福祉施設（地域密着型介護老人福祉施設含む）	10. 特定施設入居者生活介護（地域密着型特定施設含む）
2. 介護老人保健施設	11. 認知症対応型共同生活介護
3. 介護医療院（介護療養型医療施設含む）	12. 小規模多機能型居宅介護（看護小規模多機能型居宅介護含む）
4. 訪問介護（夜間対応型訪問介護含む）	13. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護
5. 訪問入浴介護	14. 居宅介護支援事業所
6. 通所介護（認知症対応型通所介護含む）	15. 回復期リハビリテーション病棟
7. 通所リハビリテーション	16. 有料老人ホーム
8. 短期入所生活介護	17. サービス付き高齢者向け住宅
9. 短期入所療養介護	18. その他

I. 貴事業所における介護現場での課題対応力強化に向けた取り組みについてお伺いします。

介護現場では、利用者の状態に応じて適時・適切に介護を提供することが必要となることから、介護の専門知識と合わせて、専門知識に裏付けられた介護の実践的スキルが求められます。

また、認知症への対応力向上に向けた取り組みの推進、中重度者・看取りへの対応や自立支援・重篤化防止の取り組みの充実等、今後の重点課題を踏まえた介護現場での課題対応力強化や介護人材の資質向上も求められています。

このような今後ますます専門化・高度化が求められる介護現場において、貴事業所における課題対応力強化に向けた取り組みについてお伺いします。

【問1】

貴事業所では、介護職員に対して介護現場で求められる課題対応力強化に向けた育成に取り組んでいますか。（いずれか1つを選択）

1. 取り組んでいる
2. 取り組んでいない
3. わからない

組織としての人材育成の取り組みのうち、介護現場で求められる課題対応力強化にむけた Off-JT (Off the Job Training)、OJT (On the Job Training) の取り組みについてお伺いいたします。

なお、課題対応力強化にむけた Off-JT、OJT は、以下のとおりとしてお答えください。

- Off-JT：「職場（日常の介護業務）を離れて」行われる研修・勉強会などの教育訓練（例：法人や事業所での座学研修、職場外でのセミナーや講義受講など）。
- OJT：「職場（日常の介護業務）で仕事に就きながら」行われる教育訓練（個別訓練）。

【問2】

貴事業所では、介護職員の課題対応力強化に向けて、どのような育成手法を用いていますか。（あてはまるもの全てを選択）

1. 事業所内で Off-JT（職場を離れて行われる研修・勉強会）を行っている ➡ 問2-1～問2-4
2. 職員を Off-JT（職場を離れて行われる研修・勉強会）に参加させている |
3. 事業所内で OJT（職場で仕事に就きながら行われる教育訓練）を行っている ➡ 問2-5～問2-10
4. 外部機関等を活用して OJT（職場で仕事に就きながら行われる教育訓練）を行っている |
5. わからない ➡ 問2-5～問2-10
6. その他 |

※ 介護職員の課題対応力強化に向けて「事業所内で Off-JT（職場を離れて行われる研修・勉強会）を行っている」と回答した事業所様にお伺いします。

【問 2-1】

その際の Off-JT の講師は、どなたが担当していますか。（あてはまるもの全てを選択）

- | | | |
|-------------------|---|---------|
| 1. 事業所内の職員が担当している | ➡ | 問 2-1-1 |
| 2. 法人内の職員が担当している | ➡ | 問 2-1-1 |
| 3. 外部講師が担当している | ➡ | 問 2-1-2 |
| 4. その他 | | |

※ 介護職員の課題対応力強化に向けて、事業所内で行っている Off-JT（職場を離れて行われる研修・勉強会）の講師は「事業所内の職員」または「法人内の職員」が担当していると回答した事業所様にお伺いします。

【問 2-1-1】

講師を担当している「事業所内の職員」または「法人内の職員」の方は、どのような資格をお持ちの方ですか。（あてはまるもの全てを選択）

- | |
|------------------------------------|
| 1. 国家資格を保有している（例：介護福祉士、看護師） |
| 2. 指導者向けの研修を修了している（例：介護福祉士実習指導者研修） |
| 3. 特にない |
| 4. わからない |
| 5. その他 |

※ 課題対応力強化に向けて、事業所内で行っている Off-JT（職場を離れて行われる研修・勉強会）の講師は「外部講師」が担当していると回答した事業所様にお伺いします。

【問 2-1-2】

講師を担当している「外部講師」の方は、どちらからの派遣の方ですか。（あてはまるもの全てを選択）

- | |
|-----------------------|
| 1. 所属する業界団体を通じた派遣 |
| 2. 職能団体（介護福祉士会等）からの派遣 |
| 3. 外部民間機関からの派遣 |
| 4. 他法人・事業所からの派遣 |
| 5. わからない |
| 6. その他 |

※ 介護職員の課題対応力強化に向けて「事業所内で Off-JT（職場を離れて行われる研修・勉強会）を行っている」と回答した事業所様にお伺いします。

【問 2-2】

その際の Off-JT では、どのようなテキストを使用していますか。（あてはまるもの全てを選択）

- | | |
|---------------------|-----------|
| 1. 法人・事業所内で作成したテキスト | ➡ 問 2-2-1 |
| 2. 市販の書籍物 | ➡ 問 2-2-1 |
| 3. 使用していない | |
| 4. わからない | |
| 5. その他 | ➡ 問 2-2-1 |

※ 介護職員の課題対応力強化に向けて、事業所内で行っている Off-JT（職場を離れて行われる研修・勉強会）にて「テキストを使用している」と回答した事業所様にお伺いします。

【問 2-2-1】

その際の Off-JT にて使用しているテキスト名をお答えください。（自由記載）

--

※ 介護職員の課題対応力強化に向けて「事業所内で Off-JT（職場を離れて行われる研修・勉強会）を行っている」と回答した事業所様にお伺いします。

【問 2-3】

その際の Off-JT は、どの職員層（入職年数層）を対象に行っていますか。（あてはまるもの全てを選択）

- | |
|-----------------|
| 1. 新規入職職員 |
| 2. 入職 2～3 年目職員 |
| 3. 入職 4～5 年目職員 |
| 4. 入職 6～9 年目職員 |
| 5. 入職 10 年以上の職員 |

【問 2-4】

その際の Off-JT では、実技実習を組み込んでいますか。（いずれか 1 つを選択）

- | |
|------------------|
| 1. 実技実習を組み込んでいる |
| 2. 実技実習を組み込んでいない |

3. わからない

※ 介護職員の課題対応力強化に向けて「事業所内で OJT（職場で仕事に就きながら行われる教育訓練）を行っている」または「外部機関等を活用して OJT を行っている」と回答した事業所様にお伺いします。

【問 2-5】

その際の OJT の指導者は、どなたが担っていますか。（あてはまるもの全てを選択）

1. 事業所内の職員が指導をしている ➡ 問 2-5-1
2. 法人内の職員が指導をしている ➡ 問 2-5-1
3. 外部講師から指導を受けている ➡ 問 2-5-2
4. その他

※ 介護職員の課題対応力強化に向けて、OJT（職場で仕事に就きながら行われる教育訓練）の指導者は「事業所内の職員」または「法人内の職員」が行っていると回答した事業所様にお伺いします。

【問 2-5-1】

その際の OJT の指導を行っている「事業所内の職員」または「法人内の職員」の方は、どのような資格をお持ちの方ですか。（あてはまるもの全てを選択）

1. 国家資格を保有している（例：介護福祉士、看護師）
2. 指導者向けの研修を修了している（例：介護福祉士実習指導者研修）
3. 特にない
4. わからない
5. その他

※ 介護職員の課題対応力強化に向けて、OJT（職場で仕事に就きながら行われる教育訓練）の指導者は「外部講師」が行っていると回答した事業所様にお伺いします。

【問 2-5-2】

その際の OJT の指導を行っている「外部講師」の方は、どちらからの派遣の方ですか。（あてはまるもの全てを選択）

1. 所属する業界団体を通じた派遣
2. 職能団体（介護福祉士会等）からの派遣
3. 外部民間機関からの派遣
4. 他法人・事業所からの派遣
5. わからない

6. その他



※ 介護職員の課題対応力強化に向けて「事業所内で OJT（職場で仕事に就きながら行われる教育訓練）を行っている」または「外部機関等を活用して OJT を行っている」と回答した事業所様にお伺いします。

【問 2-6】

その際の OJT は、どの職員層（入職年数層）を対象に行っていますか。（あてはまるもの全てを選択）

1. 新規入職職員
2. 入職 2～3 年目職員
3. 入職 4～5 年目職員
4. 入職 6～9 年目職員
5. 入職 10 年以上の職員

【問 2-7】

その際の OJT は、職員一人あたり 1 年間のうちどれくらいの期間行っていますか。（いずれか 1 つを選択）

1. 年 1 回程度
2. 年 1 週間程度
3. 年 1 か月程度
4. 年 2～3 か月程度
5. 年 4～6 か月程度
6. 年 7～10 か月程度
7. 1 年を通して実施
8. わからない
9. その他

【問 2-8】

その際の OJT では、どのように職員の実践内容や対応内容を確認していますか。（いずれか 1 つを選択）

1. 指導者が現場に立ち合い、実践している行為、対応を確認している
2. 指導者は現場に立ち合わずに指導している
3. わからない

4. その他

【問2-9】

その際のOJTでは、指導完了（終了）の判断をどのようにしていますか。（いずれか1つを選択）

- | | |
|------------------------|-----------------|
| 1. 評価者（他者）による評価を行っている | ➡ 問2-9-1～問2-9-7 |
| 2. 評価者（他者）による評価は行っていない | |
| 3. わからない | |
| 4. その他 | |



※ 介護職員の課題対応力強化に向けてOJT（職場で仕事に就きながら行われる教育訓練）を行う際、指導完了（終了）の判断を「評価者（他者）による評価で行っている」と回答した事業所様にお伺いします。

【問2-9-1】

指導完了（終了）の判断を行う評価は、どなたが担っていますか。（あてはまるもの全てを選択）

- | |
|-------------------------|
| 1. 研修を受けている事業所の管理者 |
| 2. 研修を受けている事業所のリーダー層職員 |
| 3. 研修を受けている事業所の介護職員 |
| 4. 研修を受けていない事業所の管理者 |
| 5. 研修を受けていない事業所のリーダー層職員 |
| 6. 研修を受けていない事業所の介護職員 |
| 7. 法人・他事業所の職員 |
| 8. 外部民間機関からの派遣 |
| 9. わからない |
| 10. その他 |

【問2-9-2】

指導完了（終了）の判断を行う評価者に、どのような研修の受講を求めていますか。（あてはまるもの全てを選択）

- | | |
|------------------|------------|
| 1. 法人・事業所内研修 | ➡ 問2-9-2-1 |
| 2. 外部機関の研修 | ➡ 問2-9-2-1 |
| 3. 特に研修の受講を求めている | |
| 4. わからない | |
| 5. その他 | |



※ 指導完了（終了）の判断を行う評価者に、「法人・事業所内研修」または「外部機関の研修」の受講を求めていると回答した事業所様にお伺いします。

【問2-9-2-1】

指導完了（終了）の判断を行う評価者に、受講を求めている研修名をお答えください。（自由記載）

【問2-9-3】

指導完了（終了）の判断を行う評価は、どの職員層（入職年数層）を対象に行っていますか。（あてはまるもの全てを選択）

1. 新規入職職員
 2. 入職2～3年目職員
 3. 入職4～5年目職員
 4. 入職6～9年目職員
 5. 入職10年以上の職員

【問2-9-4】

指導完了（終了）の判断を行う評価は、どこまでの範囲の介護職員を対象に行っていますか。（いずれか1つを選択）

1. 全介護職員に対して
 2. 特定の介護職員に対して
 3. わからない
 4. その他

【問2-9-5】

指導完了（終了）の判断を行う評価は、どれくらいの頻度で行っていますか。（いずれか1つを選択）

1. 年1回実施
 2. 年のうち、定期的に実施
 3. 年のうち、必要に応じて随時実施
 4. 数年に1回程度実施
 5. わからない
 6. その他

【問2-9-6】

指導完了（終了）の判断を行う評価の際は、どのような評価基準を用いていますか。あてはまるものをお教えてください。（あてはまるもの全てを選択）

1. 事業所で独自に作成した介護の評価基準を使用
2. 法人で独自に作成した介護の評価基準を使用
3. 介護キャリア段位制度のような、既存の介護の評価基準を使用
4. 評価基準は使用していない
5. わからない
6. その他

【問2-9-7】

指導完了（終了）の判断を行う評価の際は、どのように職員の実践内容や対応内容を評価していますか。（いずれか1つを選択）

1. 評価者が立ち合って評価している（実践している行為を現認している）
2. 評価者は立ち会わずに評価している（実践している行為の現認はしない）
3. わからない
4. その他

※ 介護職員の課題対応力強化に向けて「事業所内で OJT（職場で仕事に就きながら行われる教育訓練）を行っている」または「外部機関等を活用して OJT を行っている」と回答した事業所様にお伺いします。

【問2-10】

その際の OJT で、指導完了（終了）の目安としているはどのようなことですか。（あてはまるもの全てを選択）

1. 実際の現場で、手順通りの対応ができていること
2. 実際の現場で、状況を読み解きながらその場で適切な判断ができていること
3. 現場で行った実践行為を振り返り、試行錯誤をはかることができていること
4. 安全に業務を遂行できていること
5. わからない
6. その他

Ⅱ. 貴事業所における介護現場での課題対応力強化に向けた研修指導体制についてお伺いします

【問3】

貴事業所では介護職員の研修指導体制をどのようにしていますか。(いずれか1つを選択)

1. 事業所に専従の研修指導担当を配置し実施している
2. 事業所に現場業務と兼務の研修指導担当を配置し実施している
3. 事業所内に研修指導担当は配置せず、管理者が役割を担い実施している
4. 事業所内に研修指導担当は配置せず、法人職員が役割を担い実施している
5. 外部機関に業務委託して実施している
6. わからない
7. その他

【問4】

貴事業所では介護職員の育成方針をどのように決めていますか。(いずれか1つを選択)

1. 法人主体で方針を決めている ➡ 問4-1～問4-2
2. 事業所主体で方針を決めている ➡ 問4-1～問4-2
3. 介護職員個人主体で方針を決めている ➡ 問4-1～問4-2
4. 特に方針を決めていない
5. わからない
6. その他



※ 介護職員の育成方針を「法人主体で決めている」「事業所主体で決めている」「介護職員個人主体で決めている」と回答した事業所様にお伺いします。

【問4-1】

研修指導にあたり、介護職員ごとの育成計画を策定していますか。(いずれか1つを選択)

1. 介護職員ごとの育成計画を策定している
2. 介護職員ごとの育成計画を策定していない
3. わからない
4. その他

【問4-2】

研修指導にあたり、介護職員ごとに目標設定をしていますか。（あてはまるもの全てを選択）

1. 短期目標を設定している（1か月等）
2. 中期目標を設定している（1年等）
3. 長期目標を設定している（3～5年等）
4. 介護職員ごとの目標は設定していない
5. わからない

【問5】

貴事業所では研修指導にあたり、介護職員のスキルアップの道筋（例：スキルマップ、キャリアパス、キャリアラダー等）を明示していますか。（いずれか1つを選択）

1. 明示している ➡ 問5-1
2. 明示していない
3. わからない

※ 介護職員のスキルアップの道筋を「明示している」と回答した事業所様にお伺いします。

【問5-1】

介護職員のスキルアップの道筋（例：スキルマップ、キャリアパス、キャリアラダー等）を研修指導に活用していますか。（あてはまるもの全てを選択）

1. 研修指導に用いている
2. （研修指導ではなく）人事評価に用いている
3. 研修指導にも、人事評価にも用いていない
4. わからない

【問6】

貴事業所では研修指導にあたり、各介護職員の得意／苦手とする介護分野や挑戦してみたい介護分野を、把握していますか。（いずれか1つを選択）

1. 定期的に把握している
2. どちらかといえば把握している
3. どちらかといえば把握していない
4. 把握していない
5. わからない

【問7】

貴事業所では研修指導にあたり、介護職員が仕事の幅を広げていくことを目的に、ジョブローテーション（シフト調整や業務調整）を行っていますか。（いずれか1つを選択）

1. 仕事の幅を広げること目的にジョブローテーションを行っている
2. 仕事の幅を広げること以外の目的でジョブローテーションを行っている
3. ジョブローテーションは行っていない
4. わからない

【問8】

貴事業所では研修指導にあたり、他事業所の介護職員がどのような介護を行っているのか見たり、比較したりしていますか。（いずれか1つを選択）

（※ 例：業務視察、業務体験、対応事例比較、共通指標を用いた評価結果比較等）

1. 頻繁に機会を設けている
2. やや機会を設けている
3. あまり機会を設けていない
4. 全く機会を設けていない
5. わからない

【問9】

貴事業所では研修指導にあたり、職員同士が介護現場の課題に対して、QOL 向上に向けて勉強する場、学び合いの場(例：法人・事業所内での介護の QOL 向上研究会・学習会、プラットフォーム等)を設けていますか。（いずれか1つを選択）

1. QOL 向上に向けて職員同士が学び合う場を、法人・事業所内に設けている
2. QOL 向上に向けて職員同士の学びあう場を、特設設けていない
3. わからない
4. その他

【問10】

貴事業所では研修指導にあたり、経験年数のある程度重ねた介護職員に、介護の対応の学び直しや鍛え直しの機会を設けていますか。（いずれか1つを選択）

1. 機会を設けている
2. 機会は設けていない
3. わからない

Ⅲ. 介護キャリア段位制度を活用した介護現場での課題対応力強化の取り組み等についてお伺いします。

「介護プロフェッショナルキャリア段位制度（以降、介護キャリア段位制度）」は、介護事業所における OJT の取り組みを支援するものとして創設された仕組みで、事業所での OJT を通じた介護職員の人材育成、介護の課題対応力強化に活用できると評価されています。

【問 1 1】

介護事業所における OJT の仕組みとして、国（内閣府）において平成 24 年度に創設された介護キャリア段位制度がありますが、この制度を知っていましたか。（いずれか 1 つを選択）

- | | |
|---|-----------------|
| 1. 知っていて、事業所内にレベル認定者、アセッサー（評価者）とにいる | ➡ 問 1 1-1～1 1-3 |
| 2. 知っていて、事業所内にレベル認定者はいないが、アセッサー（評価者）はいる | ➡ 問 1 1-1～1 1-2 |
| 3. 知っているが、事業所内にレベル認定者やアセッサー（評価者）はいない | ➡ 問 1 1-1 |
| 4. 知らない | |

※ 介護キャリア段位制度を「知っている」と回答した事業所様にお伺いします。

【問 1 1-1】

介護キャリア段位制度を知ったきっかけは何でしたか。（あてはまるもの全てを選択）

- | |
|----------------------|
| 1. 所属する法人・事業所を通じて知った |
| 2. 他の法人・事業所を通じて知った |
| 3. 国や自治体からの情報を通じて知った |
| 4. 所属する業界団体を通じて知った |
| 5. 1～4以外の媒体を通じて知った |
| 6. わからない |
| 7. その他 |

※ 「事業所内にレベル認定者、アセッサー（評価者）とにいる」と回答した事業所様にお伺いします。

【問 1 1-2】

貴事業所では介護キャリア段位制度の取り組みを通じて、介護の課題対応力（介護の実践的スキル）についてどのような効果が得られましたか。（あてはまるもの全てを選択）

1. 介護職員の介護技術について再確認ができた
2. 事業所の介護の方法について標準化がはかられた
3. 根拠（エビデンス）に基づく指導や助言ができるようになった
4. 自ら介護の内容を振り返り、気づきにつなげるようになった
5. 利用者のアセスメントを多角的に行うようになった
6. 課題となっていることの原因を追究し、対応策を多角的に検討するようになった
7. チームケアや多職種連携がはかれる介護記録ができるようになった
8. 上司や同僚とのコミュニケーションの機会が増えた
9. その他

※ 「事業所内にアセッサー（評価者）がいる」と回答した事業所様にお伺いします。

【問 1 1-3】

貴事業所ではアセッサーを事業所の中でどのように位置づけていますか。（あてはまるもの全てを選択）

1. 介護現場の中で介護技術の評価を行う職員として位置づけている
2. 介護現場の中で介護技術の指導を行う職員として位置づけている
3. 介護現場の中で介護技術の標準化をはかる職員として位置づけている
4. 介護職員の人事評価者として位置づけている
5. その他

【問 1 2】

介護キャリア段位制度は、アセッサーが評価者となり、介護職員の業務中の対応を客観的に評価していく、他者評価による OJT の仕組みです。

介護現場で求められる課題対応力強化を行う上で、このような「他者による評価」の仕組みは必要と思われますか。（いずれか 1 つを選択）

1. とても必要
2. どちらかといえば必要
3. あまり必要ではない
4. 必要ではない

5. わからない

IV. 貴事業所の介護職員の課題対応力強化に向けた取り組みの課題についてお伺いします。

【問 1 3】

貴事業所での介護職員の介護の対応力強化に向けた Off-JT（職場を離れて行われる教育訓練）に関する課題として、あてはまることはありますか。（あてはまるもの全てを選択）

1. 育成すべき対象（介護職員）の把握が難しい
2. 育成対象の介護職員の学習時間の確保が難しい
3. Off-JT の教材がわからない
4. Off-JT に関わる職員（講師）の負担が大きい
5. Off-JT にかける資金的余裕がない
6. その他

【問 1 4】

貴事業所での介護職員の介護の対応力強化に向けた OJT（職場での仕事に就きながら行われる教育訓練）に関する課題として、あてはまることはありますか。（あてはまるもの全てを選択）

1. 育成すべき対象（介護職員）の把握が難しい
2. 育成対象の介護職員の学習時間の確保が難しい
3. OJT の教材がわからない
4. OJT に関わる職員（指導者、評価者）の負担が大きい
5. OJT の仕方がわからない
6. OJT にかける資金的余裕がない
7. その他

【問 1 5】

介護は利用者の心身の状況に応じて対応することが必要となりますが、貴事業所では、状況による変化や利用者ごとに異なる心身の状況を「観察する力」を育成する Off-JT ないし OJT（教育訓練）ができていますか。（いずれか 1 つを選択）

1. 十分できていると思う
2. どちらかといえばできていると思う
3. どちらかといえばできていない
4. できていない
5. わからない

【問16】

介護現場では直面した事象を課題として捉えるか、何を課題と捉えるかによって、導かれる対応策が変わってきますが、貴事業所では介護現場で直面する事象に対し、「多角的に検討したり、分析する力」を育成する Off-JT ないし OJT（教育訓練）ができていますか。（いずれか1つを選択）

1. 十分できていると思う
2. どちらかといえばできていると思う
3. どちらかといえばできていない
4. できていない
5. わからない

【問17】

介護現場では医療職をはじめとした専門職の方と連携し、対応策を選択していく場面は多く、今後も必要性を増すといわれていますが、貴事業所では多職種と連携し、介護の専門職として力を発揮するような育成が伴う Off-JT ないし OJT（教育訓練）ができていますか。（いずれか1つを選択）

1. 十分できていると思う
2. どちらかといえばできていると思う
3. どちらかといえばできていない
4. できていない
5. わからない

【問18】

貴事業所では経験年数を重ねた介護職員間において、基本的な介護技術にばらつきがみられますか。
(いずれか1つを選択)

1. かなりばらつきが見られる
2. 少しばらつきが見られる
3. あまりばらつきはみられない
4. ほとんどばらつきはない
5. わからない

【問19】

貴事業所では、基本的な介護技術の指導において、指導者の自己流や主観ではなく、「根拠（エビデンス）に基づく介護の指導」ができていますか。（いずれか1つを選択）

1. 十分できていると思う
2. どちらかといえばできていると思う
3. どちらかといえばできていない
4. できていない
5. わからない

【問20】

介護職員の課題対応力強化を目的に、介護事業所でのOJTの取り組みやOJT実施に向けた研修の義務化をはかることは必要と思われますか。（いずれか1つを選択）

1. 必要
2. どちらかといえば必要
3. どちらかといえば必要ではない
4. 必要ではない
5. わからない

【問21】

介護職員の介護の課題対応力強化を目的に、介護事業所でのOJTの取り組みやOJT実施に向けた研修を義務化する場合、どのような取り組み支援が必要と思われますか。（あてはまるもの全てを選択）

1. OJT 取り組み環境整備方法の指南、業務支援
2. OJT 実施中の代替職員の確保
3. OJT 指導者の外部機関からの派遣、業務支援
4. 研修受講費用の補助等
5. OJT 取り組み環境整備に係る助成・補助等
6. OJT 取り組み成果に対する事業所への助成・補助、報酬等
7. OJT 取り組み成果に対する介護職員に紐づく補助、報酬等
8. 該当なし

アンケートは以上となります。ご協力ありがとうございました。